

誰もがいつまでも住み続けたい魅力あるまちに！

# 玉川学園・南大谷地区協議会 ニュース

vol.8(創刊第八号) 2019.3

発行&発行責任者：玉川学園・南大谷地区協議会  
代表 徳力 幹彦

～協働してくださる団体や個人を募集しています！～

お知り合いの理事やニュース記載の担当にお気軽にご連絡下さい。

## 2019年度 総会のお知らせ

5月27日(月) 10:00～ 場所：町田市庁舎おうえんルーム

総会では2019年度活動計画と予算案、及び活動内容について話し合いを行います。

どなたでも参加できます。気軽にのぞきに來てください！

## 第9回玉川学園 はなびら市 2019 & さくらめぐりのお知らせ

4月6日(土) 11時～16時玉川学園商店街はなびら市ではきらぼし銀行駐車場にて、ニットカフェのバッグや和風の作品を出展販売いたします。是非、お立ち寄り下さい。また、フードドライブを行なっています。ご家庭で余っている食品を受け付けます。大切な資源の有効活用や環境負荷を減らす為にも、ご協力をお願いいたします。

担当 井上 宮子 042-810-2062

4月7日(日) 3丁目子ども広場にて、様々なイベントが開催されます。

「花をめぐって焼き団子」は、桜の花を見ながらひと歩きしたあと、一休みして香ばしいお団子を食べて楽しむ企画です。しかし「さくらと緑のプロジェクト」のチームが本当に知って欲しいことは少し別にあります。学園都市として始まるこの町並みには、桜が多く植えられています。

「スタンプラリー」をしてもらう2丁目界限にも100本近い桜があります。良く観察してもらうと、花の色も咲く時期もいろいろな種類のサクラがあることがわかります。

また、ひと時咲く時だけでなく、芽生えを生かした枝落としや秋には落葉の掃除をしてくれるひとがいることを忘れないで欲しいと思います。残念ですが、宅地開発の伐採や枯れてしまった桜もあります。人が植えた桜は、人の手でケアする。華やかで美しい桜は希望に満ちていますが、お団子をほおぼるのもまたよしです。また防災食の試食もできます。

(共催：町内会第二地区、支援：商店会、さりげない見守り隊、地区協議会)

担当 木村 彰男

[kimura21@jcom.home.ne.jp](mailto:kimura21@jcom.home.ne.jp)



第9回 玉川学園  
**はなびら市 2019**  
**さくらめぐり**

玉川学園商店街のイベント、はなびら市とさくらめぐりが今年もまちの春で開催されます。年に1回開催が予定されているだけでなく、お団子試食や防災食の試食も行う予定です。また、お団子試食や防災食の試食も行う予定です。また、お団子試食や防災食の試食も行う予定です。

**4/6(土) 玉川学園商店街はなびら市**  
11:00～16:00  
会場：ポケットパーク  
玉川学園商店会フードコート  
会場：ポケットパーク  
街角コンサート“Good News”  
会場：ポケットパーク  
「春の市」  
会場：きらぼし銀行駐車場  
・地区社協バザーとお茶会 ・ギャラリー八舞  
・小野橋炭焼研究会 ・アートスペース MATSUI  
・草木染めの手づくりSHOP

**4/7(日) さくらめぐり** 会場：3丁目子ども広場  
問合せ：玉川つばめ通信 宇野津 090-3473-3872

花をめぐって焼き団子 会場：新防災食のアレンジ料理研究会  
お団子試食 会場：玉川学園商店街  
はなびら屋台村～子ども広場に楽しい屋台が大集合！  
13:00 アニメグッズ販売 焼き団子試食 会場：玉川学園商店街  
14:00 お友だちつづきあひまわり 会場：玉川学園商店街  
アレルギーフリーがやってくるよ！  
14:00 MG リッカー教室開催！！  
15:00 ひょうたんランブを作ってみようワークショップ 50分 250円  
会場：アートスペース MATSUI

主催：まちの会 共催：玉川学園商店街、玉川学園自治会  
協賛：玉川学園地区社会福祉協議会、まらつくりの会、アートアート実行委員会、こらこら地産物 玉川学園商店街

## 2018年度の事業報告

### 第三回玉南まちカフェ報告

2月9日午後3時より、第三回玉南まちカフェが開催されました。

当日は、雪が降るのではないかと懸念されましたが、多くの方々がまちカフェに参加されました(概ね23~25名)。これまでのまちカフェは、協議会の各事業の紹介やこれからの協議会の在り方などの意見交換が中心でした。

今回は趣向を新たに第1部として地域の大学との連携をテーマとして、昭和薬科大学の吉永真理先生をお招きし、大学の施設の案内(薬草園は有名)の他、大学の特色を活かした地域貢献事業についてお話いただきました。

(下記写真参照)昭和薬科大学がこの地域(町田市東玉川学園)にキャンパスを開いて約30年になるということです。

地域連携事業では、地域ぐるみの子育て支援が必要とされている時代背景を反映して、様々な講座や学生との交流の場を設ける活動が行われています。その関連で、住宅公社が管理する本町田住宅では、住民と学生の交流が行われ、地域活性化につなげようとするプロジェクトもあるそうです。ご自身の研究としては、町田市のせりがや冒険遊び場(通称・せりぼう:NPO子ども広場あそべこどもたち)と協力して、近隣の子供達の外遊び支援を行い、心身発達への影響を調査するなど多彩な活動を行っているとのこと。



後半、外遊びについてのお話では、「子ども達が外遊びをすることで、体力向上とともに実行機能などの非認知的能力が豊かになり、社会的適応力が増す」と結ばれ、最近、TOKYO PLAYという団体が主催して「道遊び」(<http://tokyoplay.jp/playbourhood/>)などの活動がひろがりつつあることもご紹介いただきました。「道遊び」とは、住宅地などの車の通りの少ない場所で、地域の人たちが見守りながら、一時的に道路を通行止にして子ども達に遊びの場を開放するという試みということです。地域での防犯の見守りや、小学校の見守り活動を、こういった試みを通して行うのであれば、より楽しい活動ができるのではないかと話されていました。

考えて見れば、この地域は、このような試みに適した道や路地がたくさんありそうで、これからのまちづくりのヒントを得られました。また、子ども食堂、第五小のユネスコスクールへの試み、地区社協のニットカフェの作品などの展示と活動紹介がありました。第2部の懇親会では、賑やかな雰囲気の中、70年ぶりに復活を果たした「玉川音頭」を皆でおどり、飲食を共にし、和やかな雰囲気のなか玉南まちカフェを終えました。

担当 清瀬 壮一 [skiyose@gmail.com](mailto:skiyose@gmail.com) 松香 [mamat.tamagawa@gmail.com](mailto:mamat.tamagawa@gmail.com)

### まちの魅力発見! (地域マップづくり) 事業 <地区協議会継続事業>

児童館での子ども達との地形模型づくり(ここでは3Dマップ)は2年目になります。昨年参加した子供達も残ってくれ、模型づくりやまち歩きは、既にベテランの域に達しています。ある子たちは、歩測での距離計測にかなり正確になり、彼等を「伊能女子」と呼ぶことにしています。地形模型は、昨年作り上げた残りの部分を作っていますが、番外編として「なかよし公園」の拡大模型の制作も一日で仕上げる等、腕を上げています。

担当 清瀬 壮一 [skiyose@gmail.com](mailto:skiyose@gmail.com)



### ~近年増えつつある空き家などを有効活用して、住民の交流や地域の活性化に役立てるための意識を広める~

#### 空き家・空き室・お庭活用事業 <地区協議会継続事業>

昨年度は、三浦展さんをお呼びして、郊外が生き延びるためのあり方について講演していただきました。今年度は、玉川学園1~8丁目地域の空き家調査を行ないました。

調査は、玉川学園地区の空き家データベース化の取掛かりとして、顔のつながった関係のなかで得られた情報に特化した空き家(空き家候補を含む)について、現地訪問と外観の写真撮影もして、玉川学園地区の全体地図とエリア別地図にプロットしました。

個人情報のため、空き家データの公表は控えますが、今後益々増えていくであろう空き家・空き室のあり方は地域のゆくえを左右する問題として捉え、その有効利用や防止対策を啓発する機会として、地区協議会としても広報していきたいと考えています。

担当 木村 真理子 [atelier@kimuramariko.com](mailto:atelier@kimuramariko.com)

関連事業として、玉川学園地区まちづくりの会主催のお庭カフェ(隣人祭り)を試みています。一人暮らしが増え災害も増えている昨今、お茶やお菓子をいただきながらご近所と四方山話でさりげなく顔の見える関係をつないでいく。。ことが目的です。

(詳細はまちづくりの会のFaceBookを参照してください。)



### ~遊び場を失った子どもたちの体力低下を取り戻そう!~

#### 元気に遊べる広場づくり事業 <地区協議会継続事業>

2/11付け読売新聞の記事;外に出て遊ぼうとすると「危ない!」と注意する大人がいる。大人が先回りしすぎではないか。全く同感。初めてのキャッチボールは楽しくない。そこで、三角ベースを取り入れた。素手で柔らかいボールを打つのも初体験。野球ゲームに慣れた高学年生からは、何故「バットで打たないの」「三振取らないの」と言われるが、ゲーム後の感想を聞くと「ゲームは楽しい」「対抗試合は、チームワークが高められる」等、総じて好評。特別な道具がなくても、身体を使い遊べる三角ベースを機に、野球ゲームで遊ぶ児童が増えたとも聞いた。嬉しいことだ。

担当 大山憲一 [my.bag.pls@docomo.ne.jp](mailto:my.bag.pls@docomo.ne.jp) TEL 090-3006-3788

#### 日常生活支援訪問「玉ちゃんサービス」への補助

#### <地区協議会継続事業>

町五小6年生(自称玉ちゃんサービスジュニア班)が秋にも体験に来てくれました。。今回は窓ガラスの清掃をしました。新聞紙で拭くとピカピカになるという昔ながらの知恵を学ぶよい機会になりました。また、玉川大学教育学部中西ゼミの学生さん2名が協力者登録をされました。若者と高齢者のふれあいの場にもなり嬉しく思います。詳しくはつばめ通信増刊号をご覧ください!

担当 斎藤 三夫 [saitomachida@outlook.jp](mailto:saitomachida@outlook.jp) 井上 宮子 [miyakoyamamomo@yahoo.co.jp](mailto:miyakoyamamomo@yahoo.co.jp)

二世、三世に渡る人、明日引越してくる人も  
住民みんなで創る南大谷・玉川学園のまちづくり・・・  
このまちは、人が宝です



**地区協議会活動報告会**

11月26日、町田市民フォーラムホールにて、石阪市長ご出席のもと地区協議会活動報告会が開催されました。玉川学園・南大谷地区からは、おむすび食堂について発表いたしました。当日参加された方からお寄せいただいた感想カードの件数は、玉川学園・南大谷地区が最も多く、多くの方に高い評価をいただきました。また、第2部の対談では、各地区の理事が特色を話し合い、玉川学園・南大谷地区で若い世代が地域のことに関わるようになってきていることについて、他地区からの関心が寄せられました。玉川学園・南大谷地区協議会を通して、参加する構成団体をはじめ、世代や組織の垣根を越えて、皆で協力し合って暮らしやすいまちづくりへの可能性を感じました。

担当 秋田 史津香

～玉南子ども食堂～ <地区協議会継続事業>

昨年7月から玉南子ども食堂を始めました。子ども食堂を通して世代を超えて人と人を「むすぶ」きっかけが作れるようにと願いを込め、「おむすび食堂」と呼んでおります。玉川学園なかよし公園で月1回開催し、参加費は子ども100円大人300円です。みんなで調理してみんなで一緒に食事をとったら、なかよし公園の自然の中で思いっきり遊びます。一番の人気は崖すべり。ソリを使うとスピード感もあり高学年の子どもたちにも大人気です。毎回スターバックスコーヒーも応援に来てくれます。子どもも楽しく大人もホッとできる時間を大切にしております。おむすび食堂は地域の多世代が繋がりを持ち、ふれあいや助け合いが生まれる場所として「みんなの居場所作り」を目指しております。



担当 秋田 史津香  
akita7048@gmail.com 090-1799-1899



<お問い合わせ先>  
玉川学園・南大谷地区協議会事務局  
(玉川学園駅前連絡所内)  
TEL 042-732-9372

代表 徳力 幹彦 [miki@yamaguchi-u.ac.jp](mailto:miki@yamaguchi-u.ac.jp)  
事務局長 前野 紀夫 [tomao@jcom.home.ne.jp](mailto:tomao@jcom.home.ne.jp)

ホームページが新しくなりました！  
是非ご覧ください。  
<https://tgmotikukuyougikai.blogspot.com/>

Facebookも覗いてみてください。  
広報誌実務&HP更新担当 翁





## ～まちの様々な活動特集～

まちを活性化させるイベントやまちの人と人々を繋げる場作りをしている活動にスポットをあてて今回は”玉川音頭”、玉川つばめ通信増刊号、町トレ、プレーリヤカー、親子サロンをご紹介します！

### “玉川音頭”のお知らせ

2018年夏に復活した「玉川音頭」ですが、今後もこのまちに根付いていくように、との願いを込め、年頭に“玉川音頭を復活させる会”を発足させました。

3月23日(土)「街のちいさな音楽会」(開場13:30、開演14:00

@さくらんぼホール・入場無料)では

玉川音頭の披露もあります。みなさま、ふるってご参加ください！

担当 宇野津 暢子 [nu821@zj9.so-net.ne.jp](mailto:nu821@zj9.so-net.ne.jp) TEL:090-3473-3872

### ■玉川つばめ通信増刊号のこと

以前より玉川大学と何かコラボできないだろうか、と考えていた筆者ですが、玉川大学教育学部教授、中西茂先生のおかげでついに玉川大学×玉川つばめ通信のコラボが実現！

中西先生担当の新科目「地域創生プロジェクトC」のメンバーである学生さんたちが、玉川学園地域の人や活動取材し、去る1/13に玉川つばめ増刊号を発行しました。地域と玉川大学の関係が深まることで、このまちはいっそうパワーアップするはず！ 大学とのゆるやかな関係性を、今後も築いていけたらいいなと思っています。 宇野津 暢子



### ■みんなで遊ぼう！プレーリヤカーがやってくる♪

寒空の中、温かく美味しいミネストローネとパンを頂きました。プレーリヤカーは、毎月第2、第4火曜日10:30~13:00 3丁目こども広場にやってきました。お外遊び子育て支援チーム クローバーの皆さんが、“外遊びで五感をつかい、豊かな感性を育ててほしい”という思いから生まれた遊び場です。泥んこ遊びができる場所、沢山のボールにキッチン道具やシャベル、ブルーシートにはトンネルがあっつくぐったり、ゴロっとしてみたり・・・。普段は何もない広場に現われる遊び場で、子ども達は思い思いの遊びをして自分の世界をふくらませています。その姿を見守りながら、大人同士もお喋りが弾み、ゆったりとした楽しいひと時を過ごしました。

玉川学園には、子どもが集まる公園がないので、子育てしている方にとってもお子さんにとっても本当にありがたい活動だと思います。クローバーのメンバーはお子さんが小中学生のお母さんです。先輩母として、一緒に子育て話や学校の話もできますよ。

連絡先：平井 佳子

[harmoniayoga.yoshiko@gmail.com](mailto:harmoniayoga.yoshiko@gmail.com)



## ■町トレ

南大谷あんしん相談室の星野さんから町トレのお話を伺いました。

町トレは、南大谷・玉川学園・東玉川学園地域に17ヶ所あり、今年で3年目を迎えます。多い所では1グループ40人～50人集ります。7人くらいのこじんまりとできるグループもあります。自宅から徒歩10分以内で通える場として、ご近所の方と知り合えたり、お話しができます。30分間、DVDを見ながら初めは座って、途中から立って、椅子を使って筋トレをします。その後の30分はお話したり、趣味活動をしったりして交流を深められます。初回、3ヶ月後、6ヶ月後、12ヶ月後と理学療法士の方が体力測定するので、町トレの効果が目に見えるのも楽しみの一つになっていると思います。「ペットボトルの蓋が開けられるようになりました！」等の喜びの声も聞こえてきます。また、「最近お顔を見かけないけれど、元気にしているかしら。」と連絡を試みたら、「体調を崩していた」とか「入院していました」のように状況が分かる事で、手を差し伸べることができるなど、大事な役割を担っていることも知りました。まだ3年目ですが、参加者が増えているのは本当に有意義な事だと思います。山坂の多い地域だからこそ、日頃のトレーニングが功を成して、健康に楽しく毎日を過ごせることを望みます。



実際に造心寺で行われている町トレを体験してきました。ポイントは、体に意識が集中すると息を吐く事を忘れてしまうので、声を出してカウントすると自然な呼吸ができるという事です。また、筋力トレーニングはキツイと感じても、クールダウンのストレッチははとても気持ち良く感じられます。町トレ後は、吹き矢をやっているそうです。肺活量が鍛えられて体に良いのと、自分で得点を計算するので、脳の活性化にもなります。担当の望月さんからは、「今回でちょうど110回目になります」とのこと。継続して続いている秘訣は、初めに望月さんが出欠をとる雰囲気から伝わってきました。今回はちょうど新しいメンバーが一人加わり、その方のご紹介から始まり、皆さん笑顔でした。筋力トレーニング中もお仲間の事を気遣う様子が垣間見れて、温かい気持ちになりました。

最近、足腰が弱ってきたなと感じている方、是非町トレに参加してみてください。

問合せ先：南大谷あんしん相談室 042-851-8421

## ■親子サロン

玉川学園地区社協では、毎月第3月曜日に“親子サロン”を開いています。

お母さんやお父さんと未就園児（0歳～3歳）が4～5組集まって、子ども達が遊ぶのを見守りながら情報交換をしたりアットホームな雰囲気の中でくつろいだひとときを過ごしています。

日時：3/18, 4/15, 5/20, 6/17 10:30～11:30

場所：秋田宅（7-15-9）

問合せ先：070-3544-0193（大野）



南大谷、玉川学園地域でこんな活動をしています等紹介をされたい活動がございましたら、下記にご連絡下さい。次回のニュースで紹介したいと思います。

広報担当：翁 真由美 [syota.ryota.mama@gmail.com](mailto:syota.ryota.mama@gmail.com) 090-3575-7512

